六日日刊
磐城時報
福島縣石城郡平町紺屋町十六
編輯兼發行人　岡田弘
印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五
發行所　磐城時報社
一部金弐錢　一ケ月金卅錢
廣告料一行十五字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

平町の國道舗裝
東北最初の完全工事
マカダム式ピチマール法採用
工事着手は七月初旬

平町の本町通り國道舗裝は三萬円が當初六月初旬着工の豫定で町民の待望裡に急速着工の豫定であつた平町の國道舗裝工事は一ケ月遅れて七月中旬着工の餘儀なきに立至つた。尚今年度の工事で縣土木課村上主任技手の手で精細な工事設計を急いでいるが過般一町目から三町目までの地質調査の結果郡山、福島等各地の地盤と比較して非常に惡地盤で在來の舗裝工事樣式では到底滿足なものが出來上らないのです。平町の惡地盤に最も適した工事樣式として東北最初のマカダム式ピチマール法を採用他都市の舗裝とは全く異つた完全舗裝工事を行ふ事と決定した。此れが爲め最初の工事計劃の樣樣替えで設計を更新する爲め早くとも今月十五日頃までは設計竣成せず、縣の決裁を經て着工するまでは約一ケ月を要するものと觀られ當初六月初旬着工の豫定であつた平町の國道舗裝工事は一ケ月遅れて七月中旬着工の餘儀なきに立至つた。尚今年度の工事計劃は一町目から三丁目までと決定したかに傳えられてゐたが事實は當初の計劃通り今年度の主要工事を施す筈である。因みに新舗裝樣式のマカダム式ピチマール法とは約十五センチ厚さに基礎コンクリートを施しその上に約〇・二センチ厚さの細石を敷き更らにコンクリートして玉石を敷き此れを乳劑によつて凝結せしめその上部にピチマール乳劑を以つて完全に舗裝するもので普通アスファルト舗裝の二倍以上の耐久力を有すと言はれてゐる。

勿來青年團員が
舞臺史劇
勿來の關放送
明夜八時四十五分から……

『吹く風を勿來の關と思へども　みちもせに散る山櫻かな』と武將八幡太郎義家の古歌に名高い勿來の古蹟を題材にした本邦劇作家の第一人者岡本綺堂氏原作の舞臺史劇『勿來の關』をゆかりも深い勿來町の青年團が脚色して明八日午後八時四十五分から放送する。

劇の梗概は

時　寛治二年の春（今より八百四十年前）

所　奥州勿來の關

八幡太郎義家が、後三年の役を終りて都へ凱旋の途すがら勿來の關にさしかゝりし時、安部貞任の殘黨、南部太郎、津輕次郎の二人が亡君貞任の恨みを晴さんと義家に窺ひ寄つた處へ、元義家の臣で今は故あつて出家の身である丹後小次郎が通り合せて、二人の者を取押へ樣として茲に亂闘を演ずる、所へ安部貞任（これは前九年の戰に捕へられ都へ召連れられ後義家の德に感じて今は其の臣でとなつて居る）が現れ出で兩人の狼籍者を押へる、そして義家の面前で兩人の者を成敗せんとする度量の大きい義家は兩人の者の心根を憐れんで其の場でゆるしてやる此處にも義家の德が現れて一同感激する。

時恰も晩春、折柄滿山の櫻春風に落花の雪となりて鎧の袖に降りかゝる、英雄義家の歌心いとゞおさへ難く茲に彼の有名なる「吹く風をなこその關と思へども　みちもせにちる山櫻かな」の名歌を吟ずる丹後小次郎、安部宗任は義家より暇を貰ひ主從おしき別れを告げ南部太郎、津輕次郎等と共々に連れ立つてあてもないさすらひの旅路に上る。（をはり）

配役（發聲順）

村の若者　甚太　井口守
關守の孫娘お花　伊藤カホル
丹後小次郎　坂本淺次郎
關守の爺　根本一男
南部太郎　山田義通
津輕次郎　安島幸
安部宗任　金成正二
八幡太郎義家　井口守
其他從者大勢
おはやし　三味線　大久保ふく
同　小林ひで
太鼓　大森贊男
太鼓　大保音次郎
解說並指揮　團長　赤津一

汽車と自動車衝突
自動車大破死傷數名

磐越線平發六日午後三時五十四分臨時列車が赤井行自動車と愛谷踏切に於て側面衝突し死傷多數の見込

（四時十分記）

全校生の半大齲齒
四倉校の診斷結果

四倉小學校虫齒豫防デーの第一日齒科診察の結果全校生徒の割合左の如くである

檢査人員　男生五八七名に對し虫齒の有る生徒は五四十二名、無者四十五名

女生徒八百十名内有る者七百四十一名、無者六九名である

計一千三百九十七名内虫齒有る者一千二百八十三名、無き者百十四名である。

▲四倉管内合格者

四倉警察署管内より去月十五日施行の本縣理髮結髮者試驗に合格したる者左の如し。

△理髮部　飯島勝之助（四倉）

△結髮部　猪方ミネ（四倉）

矢部マメ（同）

勿來、小名濱、四倉湯本、豐間の側溝工事續行と決定

平土木監督所では平町二、三町目から南町に通ずる魚市前道路があつたが設計成つたので縣の決裁あり次第急速に着工の豫定である。尚此れと同時に昨年度から側溝工事を行ふべく設計中で委員會を召集し高麗橋の架替工事着手その他の協議を爲す。

今朝胡摩澤に火事
住家半燒して間もなく鎭火
原因殘火不始末か

今六日午前〇時二十分頃突如平町胡摩澤平土木監督所常備夫木村岩吉（四四）方裏手から發火あはや大事に至らんとしたのを家人が發見急遽馳付けた自動車ポンプ隊の活動で間もなく同家半燒したのみで鎭火した、損害約二百圓の見込。發火の原因は岩吉は自家用茶の製造を爲してゐたがボイロの殘火不始末からであるらしく平署渡部警部補係りで關係者を取調中。

松睦會追悼
日露の勇士

故高崎氏十三年忌

平町松睦會では副會長鈴木長三郎氏發起となり會員會つては日露大戰の勇士として勳八等功七級金鵄勳章を授與された平町四丁目故高崎正敬氏の十三年忌に相當するので今六日午後一時から同町長橋町性源寺に於いて追悼會を執行した。

▲南町に疫痢　平町南町一五木場保一（四ツ）は六日川井醫師診斷の結果眞症疫痢と決定したが重態の爲め隔離不能である。

呪はれた農婦縊死
夫には死別、長男は家出
頼りの次男は自殺！
啞の身で生活に窮し

大野村大字駒込字室地一九七農酒井イク（四八）は昨五日午後五時頃居室の梁に兵兒帶を吊し覺悟の縊死を遂げたのを戶外で遊戯後歸宅した四男龜吉（一〇）が發見大騒となり附近の人々が駈付け應急手當を加へたが蘇生せず、屆出により四倉署から神永部長出張檢視したが自殺の原因は

イクは夫龜太郎に四年前死別し長男龜春は七年前に無斷家出行方不明になり、頼みの綱の二男善吉が去三月二十七日此れまた無斷で家出大阪市で鐵道自殺を遂げたので極度に悲觀殊に自分が啞の不具者である爲め殘つた幼兒二人とその日を送るのにも事欠く始末で遂に厭世自殺を計つたものであるらしい。

▲明日土木委員會

平町では七日午後一時から土木委員會を召集し高麗橋の架替工事着手その他の協議を爲す。

四倉町長
新妻氏出發

四倉町長新妻盛氏は滿洲帝國視察の爲め今六日午前八時三十八分同町官民多數の見送りを受けて四倉驛を出發した。

▲四倉校參觀　湯本町入山學校戶村訓導外五名は去る三十一日模範校たる四倉小學校の兒童教育狀態を視察して歸校した。

齒の健康兒
表彰さる

四倉小學校の全國虫齒豫防デーに齒の健康兒として福島縣齒科師會長及び福島縣齒科衛生教育部長より表彰された生徒氏名。

尋一ノ二木村光夫、尋二ノ一新妻三男、尋三ノ三高木トヨ

四ノ一長谷川光正、五ノ四佐々木ミツ子、六ノ二鈴木クマ

高一ノ二國玉愛子、高二ノ二出羽トミ子、商産三年木村勳

實踐女學生遠野ヨシイ、野口クマ子、以上

叱られて 少女家出

平署で取押

中村町字新町深澤幸之助長女幸子（一四）は昨五日父から叱責されたので無斷で家出中村驛午後十時發上り準急列車に乘車して上京の途中中村署よりの手配により平驛で平署員が取押へ引取りに來た實父幸之助に引渡した

▲石城第四區敎育會　の各小學校首席訓導は來る六日平町第一小學校に開催せらる石城郡敎育會法規研究會に出席する。

▲四倉局事業成績　四倉郵便局五月分取扱成績左の如し。

貯金受入數千百十九件、貯金受入金高三萬三千七百二十七圓七十四錢、貯金拂出數六百二十五件、仝拂出金高三萬九千二百三圓七十六錢、爲替受入數四百五十件、仝受入金高九千二百二十四圓六十五錢、爲替拂出數六百十八件、仝拂出金高一萬五千七百九十四圓二十六錢、以上

鼻の薬「チクノール」
山野邊藥局

擧動不審の 勞働者檢擧

五日午前二時頃平町南町通りを徊徊してゐる一見勞働者風態三十才後前の男を密行中の平署員が發見本署に拘置して嚴重取調てゐるが、此の男は當時住所不定無職小菅金一（三〇）と稱し本籍地その他一切口を噤して居り何等かの犯罪あるものと睨み引續取調中。

電話二五一番開設
有給外務社員招聘
紳士的奮鬪家を求む相當優遇す
有隣生命保險株式會社
平町大町　平出張所
鈴木健司

駿馬の嘶き血は躍る
福島競馬へ!!
十六日(土)　十八日(月)　二十三日(土)
十七日(日)　二十二日(金)　二十四日(日)
午前六時出發——午後九時歸着
會費金五圓也
晝食と特等入場券進呈
▲募集人員　毎日五名　限り
平驛構内と一般貸切　電話三二番
不二一タクシー

安全剃刀（自動研磨皮付）
白衣と鏡（大小各種）
化粧品、理髮器具一式
クリーム、ポマード……ハカリ賣り
芳香園理髮器具店
平驛前（電話六八〇番）

漆器の御用は皆様の丸共へ御用命下さい
卸賣特に御務め勉強致します。
景品賞品類　進物贈答品　恩賜賞與品　記念表彰品　各國產漆器
共榮漆器店
平町三丁目北裏通り
店員募集
本年尋卒　仕着　小使月三圓
同高小卒　仕着　小使月五圓
外交員十八九才より三十才迄

10日　機設　檢査　新
体温計の檢査日です
お宅の体温計は？
◎正確な体温計を御使用下さい
◎毎月十日の檢査日御利用下さい
度量衡計量器　指定販賣人
西村屋藥局
電三番

ゼブラ自轉車
宮田自轉車　代理店
モヒスヤ自轉車店
遞信省御用　電話六六四番
◎小店員二名入用　眞面目で身体强健の者十四、五歳位　委細來談あれ

產婦人科　院長　木村寅次郎
外科　醫學博士　內木宗八
藥局　藥劑師　玄番彌一
入院隨意　病室完備
平町新川町十九
木村病院
電話一六四番

外科　花柳病科　專門
平町六丁目橋際
木村外科醫院
電話三〇九番

齒科
平町古鍛冶町九一
神谷齒科醫院
神谷辰夫

新發明　透明障子紙
福島、茨城、宮城、栃木　四縣下一手販賣
平町四丁目　伊勢屋
發賣元　阿部商店
電話四五番

土木建築設計工事監督
土木建築出願事務取扱
大井建築設計事務所
平出張所
建築士　大井勇
福島縣平町仲間町通

吉田眼科病院
平町紺屋町（電話六八番）